

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男「アセナフテンに関する研究 (第15報) — α , β -ジクロル・無数ナフタル酸の合成ならびにメチルイミド化—」日本化学会第11年会講演会 (1958.4)

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男 技術研究生 寺島孝一「アセナフテンに関する研究 (第16報) —9, 10-ベンゾイレンペリレン-3, 4-ジカルボニル-N-メチルイミドの塩素化—」同上 (同上)

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男 技術研究生 富山承一「アセナフテンに関する研究 (第17報) —9, 10-ベンゾイレンペリレン-3, 4-ジカルボニル-N-メチルイミドのニトロ化—」同上 (同上)

◇教授 永井芳男 技官 田辺正士 技術研究生 石井健一「トルエンとクロルシアンとの反応」以上 (同上)

◇教授 永井芳男 技官 田辺正士 技術研究生 本多梁作「ポリビニルアルコールとニトロベンズアルデヒドとの反応」同上 (同上)

◇助教授 山辺武郎 技術研究生 下条うた子・田中米吉 「イオン排除による食塩と硼酸の分離」日本塩学会第9回総会 金沢市金沢商工会議所において

(1958. 5. 15)

◇助教授 高橋幸伯 「水位計について」造船協会春季講演会において (1958. 5. 16)

☆寄 稿☆

◇助教授 黒川兼行 “The Expansions of Electromagnetic Fields in Cavities” I R E Transactions on Microwave Theory and Techniques. M T T—6 No. 2 p.p. 178—187 (1958.4)

◇教授 高橋武雄 教務員 桜井 裕「電流滴定法を用いた連続電量滴定法」分析化学, 7, 296—300(1958.5)

☆ 生研所員海外渡航状況

◇第3部 藤高周平教授は、パリにおいて開催される第

17回国際送電網会議に日本代表として出席し、あわせて欧州諸国を訪問し、超高压電力技術、特に雷害防止に関し視察するため、約1ヶ月間の予定で5月31日東京国際空港を出発。

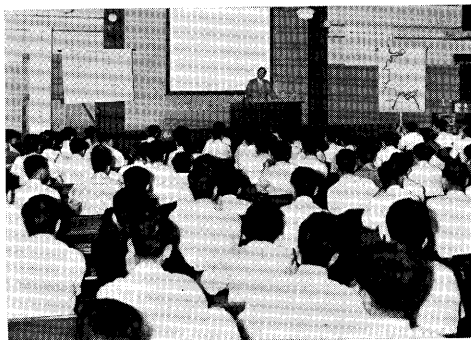
☆本所の公開☆

去る5月31日は本所の創立第9回記念日で、例年のように所内を開放し、研究を公開した。当日は好天気で、招待者、一般来観者合せて約3,700名の多数にのぼった。試作工場予定建物内に集中的に展示された各研究部の研究は、とくに注目を引き、中でもロケットの研究、原位置土の強さの試験機の試料として出された競技場用アンツーカーなどは、一般来観者の興味を引いた。

その他、研究室の公開、専門家への特別公開も広い場所内を点々としたところを、折からの暑さにもかかわらず、熱心に見て廻る人も多数であった。

午後には、講演と映画が行われたが、映画は、中、高校生のため、とくに午前中3回の追加映写をした。

なお、前日には、本所の外郭団体主催の理事会と評議会が、生研協議会を兼ねて開かれ、公開日に先立って、研究が供覧された。



講演・映画会場のスナップ

筆 者 紹 介

- ◇星合正治 教授 工博 専攻 電子管工学
- ◇小瀬輝次 技官 専攻 応用光学
- ◇鈴木恒子 技術員 専攻 同上
- ◇小川正義 教授 工博 専攻 精密機器学・精密加工学
- ◇古川 浩 研究員 専攻 精密機器学

- ◇山本 寛 教授 工博 専攻 化学工学
- ◇水町長生 助教授 専攻 ガスタービン
- ◇内田正次 技官 専攻 同上
- ◇金子和男 技術員 専攻 同上
- ◇高橋武雄 教授 工博 専攻 有機工業分析学
- ◇三宅信午 技術研究生 専攻 同上

編 集 委 員

- 編集委員長 渡 辺 要
- 編集委員 小瀬輝次
- 渡 辺 勝
- *小川正義

編 集 委 員

- 田 宮 真
- 鈴 木 弘
- 黒川兼行
- 安達芳夫
- *金森九郎

編 集 委 員

- 永井芳男 専門委員 星野昌一
- 松下幸雄 編集幹事 下村潤二郎
- 関野 克 編集室 水野晴明
- 久保慶三郎

*印当番委員

第10巻 第6号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1958年6月1日 発行

頒 価 60 円

編 集 者
発 行 者

渡 辺 要
福 田 武 雄

印 刷 者
発 行 所

三 美 印 刷 株 式 会 社
東 京 都 千 代 田 区 神 田 多 町 2 の 7
東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所
千 葉 市 弥 生 町 1
電 話 千 葉 (2) 0 2 6 1 (代 表)